腹膜透析出口部形成・腹膜透析導入を受ける患者さんへ

ID:　　患者氏名：　　様

【患者さん用クリニカルパス】

	入院当日 出口部形成当日	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目（退院日）
	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
目標	入院から退院までの経過が分かる。 心身ともに治療を受ける準備ができる。	痛みのコントロールができている。 腹膜透析のしくみについて理解し看護師とともに操作することができる。		看護師の指導を受けながら自身で 腹膜透析を施行することができる。		腹膜透析を手順を見ながら自立して操作することができる。 退院後の注意点が分かり、退院後の生活に見通しが持てる。	
説明 指導	看護師より入院中のオリエンテーション（説明）を行います。医師から腹膜透析カテーテル出口部形成について説明を行います。医師からの説明後、治療の同意書にサインしていただきます。	看護師から腹膜透析のバッグ交換方法について説明します。 		腹膜透析の方法についてパンフレットに沿って説明いたします。 操作方法など分からないことがあればその都度お答えいたします。			退院時指導を行います。（災害時の対応、腹膜炎の予防方法について、外来受診方法について、出口部の保護、カテーテルの固定方法について） 
治療 処置 点滴	医師からの説明後、腹膜透析カテーテル出口部形成を泌尿器科処置室で行います。	1日2回洗浄を行います。 看護師とともに腹膜透析を実施します。		出口部形成3日目から腹膜透析の貯留を開始します。 看護師とともに操作し、退院後ご自身で実施できるよう説明、指導いたします。			
検査	必要時血液検査やレントゲン検査を行います 						
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。内服薬は基本的に継続内服とします。（中止する薬があるときは説明します）	常用薬を内服していただきます。内服薬が追加になったり中止になったりする場合があります。 					
生活行動 安静度	特に制限はありません。						
排泄	尿が出る場合、尿の量を測定します。看護師が測定方法を説明します。	ご自身で尿量を測定していただきます。					
清潔	出口部形成当日はシャワー浴はできません。必要時体拭きをお手伝いします。	出口部形成翌日からシャワー浴が可能となります。出口部から出血したり、貼っているテープが剥がれたりした場合はすぐに看護師に知らせてください。					
食事	治療食（CAPD食）をお出しします。病院から提供されるもの以外の間食はお控えください。飲水量測定をしていただきます。 						
その他	出口部の痛みや、出血など異常が見られた場合はすぐにお知らせください。						退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。

注）予定等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
泌尿器科